開設年度		開講部局	
2016		共通教育	
科目名		ナンバリングコード	
稲盛和夫のベンチャー企業論			
英語科目名			
Venture company theory of Kazuo Inamori			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
後期	毎週	講義	2
(28年度以降入学生)中分類		(28年度以降入学生)小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野(選択科目)	
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
b. 知力:人文・社会科学		11. 経済・経営を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		人間教育科目	
受講学部学科			
全学部全学科			
担当教員		担当教員所属	
吉田健一			
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-285-3753		k5621643@kadai.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
随時可(但し、事前にメールか電話で連絡をください)			
共同担当教員		AL(アクティブ・ラーニング)	
理念 重要視する教育目標			
理念 教育目標			
理念 教育目標			
理念 教育目標			
授業概要(目的・内容・方法)			
将来、起業または企業経営者を目指す学生に、どのようにして会社を経営し成長させていくか、企業経営に必要なマインド及び会社経営の考え方について、基礎的な理解を図ることを目的とする。			
学習目標			
1. 企業経営者に求められる資質への理解を深める。			
2. 企業を成長させるために必要な道りについて理解する。			
3. 起業の意義を日本経済活性化の観点から考えることができるようになる。			
授業計画・試験の有無(16回[初修語は31回]に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
1. はじめに 会社の存在意義とは 活力ある社風をつくる 1			
2. 活力ある社風をつくる 2			
3. 社員のやる気を引き出す 1			
4. 社員のやる気を引き出す 2			
5. 幹部を育てる 1			
6. 幹部を育てる 2			
7. 自らを高める 1			
8. 自らを高める 2			
9. リーダーの役割10カ条			
10. 高収益の基盤を築く 1			
11. 高収益の基盤を築く 2			
12. 挑戦し続ける企業をつくる 1			
13. 挑戦し続ける企業をつくる 2			

- 14. パートナーシップで経営する 1
- 15. パートナーシップで経営する 2
- 16. 期末試験は行わない(指定日までにレポートを提出)

授業外学習(予習・復習)

配布資料(教科書)を事前に次の内容を一読して来ること。

受講要件	成績の評価基準
企業経営に関心があることが望ましい。真面目に全ての回を受講する意思のある方。	毎回のフィードバックシートの提出(50%)、期末レポート(50%)。レポート提出の要件は3分の2以上の出席。
教科書	参考書
稲盛和夫『実学・経営問答 人を生かす』(日本経済新聞社・2008年) 稲盛和夫『稲盛和夫の経営塾 Q&A高収益企業の作り方』(日本経済新聞社・2007年) 教科書は購入することは望ましいですが、必ずしも個人で購入する必要はありません。講義中に資料を配布します。	なし
地域志向科目の区分(平成27年度入学生用)	地域志向科目の区分(平成28年度以降入学生用)

その他

受講する気のない人は受講登録を遠慮願います。